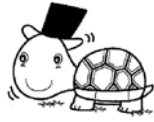




三輪さやか てるてる二人



きらめき亀山21 かめさん

きらめき亀山21企画会議
amani@helen.ocn.ne.jp

第50号

2005年5月21日発行

『万博いきいき自転車の旅2005 愛・地球博会場～広島』 最難関安楽越えチャレンジを支援 !!

愛知万博パートナーシップ事業の一つとして、『地球環境の保護、高齢化社会への対応』のメッセージを携えて、各地で友好の輪を深めながらの自転車の旅が計画されました。オーストラリアの自転車冒険家スタン・ジャクソン氏(91歳)を中心にオーストラリアと日本の自転車愛好家(平均年齢68歳)が自然に優しい自転車で、5月8日～24日に万博会場をスタートに800k先の広島をめざして走りだしました。

5月9日(月)は四日市から滋賀の大津までの行程で、亀山市川崎町から石水溪を通り安楽越えで土山に抜ける、全工程のなかでも最大の難関コースとなりました。

亀山市民文芸サイトにある【魅惑の安楽古道】が縁で、Japan Cycling Navigatorの小泉さん、日本側の代表 山本英毅さんとコーディネーター永松三千生さんの呼びかけにより安楽越えをサポートする事になりました。当日はウィークデーでしたがKIFA・亀山国際交流のメンバー、きらめき亀山21に関わっているボランティアを中心に約25名の方が安楽峠までの沿道各所での道案内と石水溪野外研修施設で亀山茶・新茶をふるまっの接待をしました。また途中、野登小学校の児童たちも校舎前の道路で手作りの旗をふりながら日豪EXPOライダーを歓迎しとても微笑ましい交流が実現できました。早速届いたお礼のメッセージです。

亀山市民の皆さん、市役所の方、子ども達まで一丸となって歓迎して下さいたのにはとても感動しました。なんといいですか、もう、すごい!の一言です。本当に亀山市の皆様には感謝しております。

今回の万博ライドのルートは、万博ライド終了後、「2005万博ライドルート」としてJapan Cycling Navigatorのサイトで地図付きでコースガイドを書く予定です。それを読んだ外国人サイクリストがふらりと亀山市に現れたら、どうか一声かけてあげて頂ければ幸いです。将来的にはまた同じようなイベントを亀山市で開ければ...などと夢想しています。



案内のママチャリに誘導され野登小学校前に・・・

そこには手づくりの旗を持って声援を送る子ども達が大感激!

さらには安楽川越しに保育園児の可愛い声援もあったそうです。

やっと登りきった標高490メートルの県境 安楽峠。

世代を超え国籍を超え困難を成し遂げた喜びを分かち合いました。この後は土山の市民の皆さんがサポートしました。この日は大津まで走行したそうです。



目次:

万博いきいき自転車の旅2005	1
市民交流の日 日本語教室	2
宿場の賑わい復活 一座 魚道説明会	3
これからの行事予定	4

坂本棚田野上がり祭り
6月5日(日)
10:00～14:00
坂本農村公園・棚田



花しょうぶ祭り
6月12日(日)
午前10時～午後3時
(雨天決行)
ところ
亀山公園菖蒲園



2005年6月21日(火)
19:30～21:30
「市民交流の日」

この日は市民活動スキルアップ講座
「NPOの作り方」です。ぜひ参加ください



市民交流の日 2005年4月21日の話し合いから メインテーマ 「今期のテーマを決めましょう」

キーワードから交流会の議題から多かったのは「地域交流」

話し合うだけでなく活かそう。一歩進んで行動に移せる話し合いをしたい。

反省会でもお互いに知り合おうとあった。

行動に移るにはテーマがいるのでは。

交流会の声を活かす必要がある。

多文化共生のまちである。しかし本当に共生しているのか？

地域ではどうか？多文化共生社会の実現を。例「ゴミの無い町には」。

新規にテーマを立ち上げるのは難しい。

交流が大切だが関と亀山の合併があったので関と亀山の交流の課題がある。

大きな町になり、どんなまちにするか考える時期。

関に行ってみるだけでも広がってくる。

分野の紹介で終わることなく問題点、聞きたいところの話し合いをしたい。

ひとつのテーマでフォローを含めて2ヶ月使ったら。

話し合いばかりでなく行動をしたい。まずは市民通し知り合おう。

実行に移す。その場所に行く。出向く。知る中で行動を見つける。動きながら自ら行動する。

核となる人材ができてきている。それをどう行動に移すか。

最近行政と市民のパイプの役目がなくなっているのでは。勝手にやっている気がする。

相手の文化を知りたい。

個人の力でできないことをみんなで解決に向かう行動を起こしたい。

なんでもないちょっとしたことから始まる。時間の使い方をどうするか。講師専門家を呼んだりしたら。

多文化共生とは。話が堅いから若者が来ないのでは。



2005年度日本語教室が開校しました

多文化共生社会推進の事業の一つとして、5年前から続けられている亀山市役所企画課が主催する日本語教室が亀山市青少年研修センターで今年も開校しました。この日本語教室は2005年5月14日から2006年3月末までほぼ毎週土曜日の夜午後7時から開かれます。今年もブラジル・ボリビア・ペルー・チリ・中国・フィリピンなど多数の国の人々が参加してスタートしました。初日の受講者は約50名で、仕事の関係で参加できなかった人など今後更に増加が見込まれます。

亀山市は平成の大合併で三重県内で第1位の外国人定住比率となり、大企業の進出と共に他の市町村からも大変関心の高い環境となっています。と共に今後ますます外国人の増加が見込まれ多文化共生社会の実現が求められています。KIFA・亀山国際交流の会でも設立以来日本語教室の全面支援の方針で、多くの講師陣への参加と養成講座の開講でボランティア講師の養成をしてきました。これから更に多くの市民の関心と多文化共生社会のあり方が問われる事と思います。



現在亀山市には29ヶ国、2096名の外国籍の人が市民として登録されています。(2005年関との合併後)これは全市民の4.31%になります。



宿場の賑わい復活一座 他地域の皆さんとの交流

5月13日、NPO法人「歴史の道 東海道宿駅会議」の理事長である松山氏が、宿場の賑わい復活一座のみなさんに会いたいと亀山市にられました。関の町並み保存会の服部氏を交えてお目にかかりました。松山氏は滋賀県土山町の前々町長を努められた方です。NPO法人「歴史の道「東海道宿駅会議」は、以前「東海道シンポジウム連絡会議」と称していましたが、東海道を愛する個人、団体の人々と共に宿場文化を保存伝承しながら、地域の活性化に寄与し、東海道を縁とした宿場同士の友好関係がつながるようにとの思いで活動しています。亀山宿も今年度より参加を決めておりますが、年1回行なわれるシンポジウムは今年は大坂府の守口宿とのことです。各宿場の代表が一同に会し、その宿場ならではのありようでおまつりを開催する、顔見知りができ次のシンポジウムが楽しみになるなど。松山氏が考えておられるのは、東海道を歩いた人々に「完歩証」なるものを発行したい。亀山宿でもどなたかが東海道を、スタンプを押してもらえたらどうかということです。我々は、岡田屋さんかな、ひの屋さんかなと思いをめぐらしました。さらに続けて、亀山宿でもシンポジウムを開催してはどうかとの提案です。市民や行政全部の亀山宿に対する価値が高められ、見る方向が同じになる。これはあらゆる相乗効果を生む。例えば亀山宿を訪れる人々をもてなそうとみんなが町をきれいにする。行政の考え方がひとつになるなど。そして、わたし達が現在行なっている活動を評して、沼地を埋める一杯目のダンプカーの砂である。沼地を埋めるのにダンプカーの一杯目の砂はどこにばら撒かれたかわからない。しかし、二杯目、三杯目とダンプカーの砂を入れていけば、必ず沼地は埋まる。一杯目のダンプカーの砂は目にはみえないが確実にその役目を果たしている。亀山宿の私達の活動は、一杯目の砂であり、はもう撒かれている。大変、勇気付けられました。11月にはみんなで守口宿へ行こう。他の宿場町を観察してこよう。

中浦記



宿場の賑わい復活一座では滋賀県近江八幡市で行なわれた「日本まんなか共和国文化首都遷都式」に参加し、近江八幡の町並を訪ねました。

琵琶湖の一部をなす水郷地帯や市民の手でよみがえった掘川は水辺の美を最大限に活かしたまちづくりでした。また歴史ある町らしく古風な中に調和した建築物はぜひまた来たいと思わせる風情にあふれていました。皆さまも車で約1時間半の近いところなのでぜひお出かけください。5月15日近江八幡にて（写真左下）



関の町並保存会では定期的に由緒ある旅籠玉屋で地域の歴史を学ぶ集まりを開いています。宿場の賑わいメンバーも参加しました。上村さんから昔の語り伝えを聞く皆さん。ユーモアたっぷりのわかりやすく庶民的な学びの場でした。4月22日関にて



新しい魚道の現地説明会

亀山市井尻町の頭首工（農業用堰堤）に新しい魚道ができ5月14日（土）その説明会が現地で開催されました。県内では初めての多様な魚類が遡上しやすくメンテナンスフリーとされるハーフコーンタイプなので当日は大阪、徳島、奈良、岐阜等の遠方からや三重大、技術関係者等約70名の参加がありました。下部には魚が魚道口を見つけやすくするために、棚田式魚道が設置されアユやオイカワ等の遡上実験も行なわれました。

水辺づくりの会 鈴鹿川のうお座、亀山の自然環境を愛する会、鈴鹿川流域協議会、川づくり会議・みえ、三重県北勢県民局四日市農政商工部



イベント名	日時	場所
ぽっかぽかの会藤原町くれよん村見学	5月26日(木)	会藤原町くれよん村
クリーン石水溪作戦	5月28日(土) 8:30~12:00	石水溪
KIFA IATSS交流会	5月28日(土) 10:00~	石水溪野外研修施設・坂本棚田
関の町並保存会亀山宿来訪	5月28日午後	亀山宿案内 坂本棚田案内
「きらめき亀山21」企画会議	6月1日(水) 19:30~	市役所3階
自然を愛する会	6月1日(水) 19:00~	あいあい
高塚池・環境看板除幕式	6月4日(土) 10:00~	高塚池
坂本棚田野上がり祭り	6月5日(日) 10:00~14:00	坂本農村公園
地域の活性を考える会定例会	6月6日(月) 19:30~	市役所
市民ネット説明会	6月6-9-14-17-22日の 5回 19:00~20:30	市役所3F 大会議室
花しょうぶ祭り	6月12日(日) 10:00~15:00	亀山公園 花しょうぶ園
KIFA国際交流の会定例会	6月14日(火) 19:30~	あいあい2F
無料パソコン相談	6月15日(水) 10:00~17:00	市民活動コーナー
ぽっかぽかお菓子作り教室 (パン教室)	6月16日(木) 9:30~14:00	あいあい
宿場の賑わい復活一座 定例会	6月16日(木) 19:30~	市役所
ぽっかぽか定例会	6月17日(金) 19:30~	あいあい
ねこの館オープン	6月19日(日) 10:00~	東町ねこの館
子育て支援かめのこ	6月20日(月) 10:00~12:00	児童センター 2F
定例市民交流の日	6月21日(火) 19:30~21:30	市役所3階 大会議室

市民のショップ 「ねこの館」 6月19日 から開店



準備を重ねてきた空店舗活用プロジェクト「NPO招き猫の会」がついに市民のショップを開きます。場所は亀山大市で期間限定オープンした元ひさご軒(東町元百五銀行前)です。いろいろな想いや夢を持った市民の皆さんが会員となりここで自分の店や教室を開きます。まだ十分な会員数には達していませんが困難を乗り越え実現にこぎつけました。原則として毎日朝十時から夜八時までシャッターを開き皆さんの来店をお待ちしています。今予定の内容は魚塾・パソコン相談と簡易修理・押し花・小物手芸販売・健康ゼミ・フラワーデザイン・木工家具展示販売・木彫り作品・農産物・手づくりクッキー・盆栽教室・水墨画教室・フリーマーケットその他各市民団体の連絡事務所にも活用いただけます。また会員外でも臨時で利用いただけるようにも考えています。顧客は不特定多数の一般市民です。この亀山で初めての画期的な市民のショップを成功させるためにも皆さんの物心両方のご支援をお願いします。



編集作成：「きらめき亀山21」企画会議

この月刊新聞は毎月21日の交流会に配布され市役所市民活動コーナーや各公共施設でも入手できます。

EMAIL amani@helen.ocn.ne.jp ホームページ <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/kirameki/>
市民ネット <http://www6.ocn.ne.jp/~kameyama/> マッホー亀山 <http://www.za.ztv.ne.jp/qtuh7aip/shimin/>
「きらめき亀山21」メーリングリスト 100名以上の参加者です。携帯でもOK
加入は「きらめき亀山21」HPより。または「きらめき亀山21」広報伊藤までご連絡ください。